

早島町議会だより

平成26年2月1日
第43号

発行 早島町議会
〒701-0303 岡山県瀬戸郡早島町前溝 360-1
TEL (086) 482-2608
FAX (086) 482-4058
編集 議会広報特別委員会



福を授ける馬

主な内容

議長新年あいさつ・各議員あいさつ	2P
12月定例議会	3P
総務厚生常任委員会・建設文教常任委員会	4P
行政視察	5P
ここが聞きたい！一般質問	6～13P
議会報告会	14～15P
新成人に聞く・編集後記	16P



議長
磯山卓宏



新年明けましておめでとうございます。
皆さまには、希望に満ちた平成26年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は議会活動に対し、心強いご支援をいただき厚く御礼と感謝を申し上げます。

内外の政治、経済社会の情勢が厳しいなかで、消費税の引き上げにより、消費の減速が懸念されます。政府は低所得者、高齢者や子育て世帯への支援を充実させるとしておりますが、いまだ景気回復への道筋が見えない中、国の施策頼みでは、デフレ脱却や財政再建がさらに遠のく恐れがあると思えます。

さて、町議会では開かれた議会を目指し、昨年4月に施行された議会基本条例に基づき、議決責任を再認識し、町民への説明責任を果たすとともに町の活性化につながる政策立案機能の充実を図ってまいりました。町民皆さまの声を政策の一端として将来の町づくりに反映させるとともに、地域の課題解決を図っていくため、議会報告会を開催しました。

そして、定例会における一般質問ではわかりやすい一問一答方式を取り入れました。また、各委員会も傍聴することができるようになりました。ぜひ多くの方に傍聴していただきたいと思っております。

町民・町・議会が丸となり、夢と希望の持てる活力あるまちづくりを進めていくことが肝要であり、これが町民参加の町づくりであると考えております。

町民の皆さんが早島町を誇りとし、早島町に住む喜びの実現を目指して、努力してまいる所存であります。

そして、今年も町民すべての人が健康で幸福に過ごせることを祈願いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

早島町議員より新年のごあいさつ



建設文教常任副委員長
古田 敬司
活力と思いやり
社会の創生



総務厚生常任副委員長
佐藤 政文
住みつづけたい町に



建設文教常任委員長
福田 健
感謝と人の和



総務厚生常任委員長
真鍋 和崇
町民一人ひとりに心を
よせてすみよい早島を



副議長
船越 健一
子育てにやさしい町の
実現をめざす



細田 貴道
早島の未来のために
全力を尽くします



松森 京子
福祉、教育
平和の充実
幸福の町づくり



原 光俊
教育再生と生活
優先のまちづくり



小池 宏治
キラリと輝くまちづくり

12月定例議会

若者定住奨励金などの補正予算

12月定例議会は、12月12日から18日までの会期で開かれました。町長より条例制定や補正予算など20議案が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決しました。

条例制定及び改正

- 早島町職員の再任用に関する条例の制定
- 早島町職員の定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定
- 公営的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- 町税条例の一部を改正する条例
- 町税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例
- 早島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- 早島町介護保険条例の一部を改正する条例
- 早島町下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例
- 早島町公共下水道条例の一部を

改正する条例

- 早島町水道使用条例の一部を改正する条例
- 早島町いかしの舎条例の一部を改正する条例
- 早島町営住宅管理条例の一部を改正する条例等

所管の常任委員会で慎重に審議され、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

平成25年度一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出それぞれ7,504万5千円を追加し、総額を48億2,293万5千円とする。

特別会計補正予算

- 平成25年度早島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ81万9千

円を追加し、総額を1億3,109万8千円とする。

- 平成25年度早島町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ132万2千円を追加し、総額を5億8,079万7千円とする。

- 平成25年度早島町水道事業会計補正予算(第3号)

資本的支出に185万9千円を追加し、総額を7,302万円とする。

専決処分の承認

- 早島中学校屋内運動場天井落下防止対策で、当初計画に新たに膜天井設置工事の実施のため、

平成25年度一般会計予算の歳入歳出に960万円を追加し、総額を47億4,789万円とする。

人事案件(敬称略)

- 早島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の当選者
- 委員 豊倉勝男 綱島年子
 - 船越邦夫 安原玲子
 - 補充員 小河原幸子 平松謙一
 - 平原照男 三宅正明
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日笠 清 (再任)

早島町情報の取扱いに関する審査会委員の選任について

- 田中 良 (再任)
- 平松 眞理子 (再任)
- 安田 寛 (新任)

の任命に同意しました。

工事請負契約の変更

- 町営住宅噂島団地1工区A-1 2・A-3棟建築工事請負契約の一部変更

変更前 2億6,460万円
変更後 2億7,216万円
とする。

訴えの提起

- 町有地の一部に車輛を長期間不法に占有していることに対し、車輛の撤去・土地明け渡しを求め訴え。

総務厚生常任委員会

総務厚生常任委員会に付託された早島町職員の再任用に関する条例の制定について等、10議案を原案どおり可決しました。

議案審議の主なもの

●早島町職員の再任用に関する条例の制定について

Q 職員の再任用の更新は誰が判断するのか？

A その仕事の領域を決定し、これまでの経歴と勤務成績により判断し、町長、副町長、総務課を含めて決める。

●早島町職員の定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定について

Q 新たな早期退職募集制度に対する退職金は従来とどう違うのか？

A 募集に対する退職金については最初の1年間は2%上乗せ、つぎの1年間で3%5年で15%それぞれは3%上乗せになると思う。

●町税条例の一部を改正する条例について

Q 軽自動車税の納期を4月末か

ら5月末に変更する理由は？

A 納税者への利便性を図ることを目的とするため。

●訴えの提起について

Q 町有地、町道等に車の放置や不法投棄の撤去を求める町条例があれば訴訟ではなく、条例上で執行できるのか？

A 条例上での強制執行については道路法と都市計画法上の問題もあり、今少し勉強したい。

●平成25年度一般会計補正予算(第4号)について

Q 保育士の処遇改善臨時特例事業補助金に対する対象人数は？

A 早島保育園30名、かんだ保育園24名の保育士である。

Q コミュニティバスの修理費の内容は？

A 車検費用以外の修繕費である。

Q 若者定住奨励金の追加内容は？

A 今回の追加は消費税の駆け込み需要ではないかと思う。

Q 総合計画に策定委託料の追加について委託先の選定条件は？

A 指名願いの出ている業者で策定業務に精通している業者とする。

陳情

・国に対して最低賃金引上げ、中

小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める陳情書

趣旨採択

建設文教常任委員会

建設文教常任委員会に付託された早島町下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例について等、9議案を原案どおり可決しました。

議案審議の主なもの

●早島町いかしの舎条例の一部を改正する条例について

Q いかしの舎指定管理者制度導入の目的は？

A サービス・利便性の向上、自主事業の拡大、文化交流の拠点として民間の活力を生かすことができ経費の削減等、効率化が図れる。

Q 管理(補修)も民間業者に任すのか？

A すべて一任することで、きめ細かな管理が期待できる。また軽微な補修は指定管理者に任す。

●平成25年度一般会計補正予算(第4号)について

Q 超過勤務手当が各課で計上されているが、残業等の労務管理はどのようになっていくのか？

A 課長が命令している。今回の超過勤務は防災出動が主なものである。

●平成25年度早島町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

Q 小型合併処理浄化槽設置補助の内容は？

A 補助率は概ね35~40%で事業区域外は原則合併浄化槽で対応し、現在27件設置しており、宅地造成に伴い今年は3件予定している。

Q 修繕料の内容は？

A ポンプは15年耐用年数があり、1回/月保守点検を実施している。前年度見込みに対し、修繕件数が増加したことによる。

陳情

・TPP交渉に関する陳情書

継続審査

・県道早島松島線沿い浦田・奥坂地区町有地売却および物流倉庫建設計画の中止を求める陳情書

継続審査

行政視察報告

総務厚生常任委員会・建設文教常任委員会合同視察

●視察テーマ

東日本大震災の実情と復興にむけての取り組みについて

- 参加人数：議員 8 名
事務局 1 名
福祉課職員 1 名

- 視察日時：11 月 27 日～ 29 日

- 視察場所：宮城県石巻市・南三陸町



南三陸町仮庁舎内で報告を受ける

●視察概要

石巻市：人口約 14 万人 宮城県北部の主要都市

語り部ボランティア浅野さん（石巻市観光協会専務理事）に石巻市一円を案内していただき、石巻市の被災状況とその復興に向けての取り組みについて伺いました。

石巻市は震災で 3,165 人の犠牲者を出し、多くの住宅や商店・水産・工業施設が甚大な被害を受けました。視察では、被災の大きかった港湾や住宅地域を中心に視察し、震災の爪痕が生々しく残り、未だ復興が緒に就いたばかりの状況を目にしました。



石巻港の魚市場



南三陸町の防災対策庁舎

南三陸町：人口約 1 万 4 千人 石巻市の北側に位置する

壊滅的被害を受けた役場跡や防災対策庁舎、復興商店街（仮設の商店街）を視察しました。その後、丘陵地に移転した仮設庁舎を訪問し、星町議会議長と担当職員の方にお話を伺いました。

人口 1 万 4 千人の小さな町の南三陸町は震災で、中心市街地のほとんどが壊滅的被害を受けました。40 数名の役場職員や町議会議員の方々が犠牲となる中で、復興にむけて懸命に努力をされている役場の様子や、街ごと高台へ移転する計画の概要等について説明を受けました。



細田 貴道 議員

問 持続可能な町づくりを目指す土地 利用計画の策定を求めます。 早島が将来も発展していける土 地利用計画を考えていく

問 各自治体は、人口減少と少子高齢化という環境の変化により、総合計画策定の根本的な見直しを迫られている。これまでのような右肩上がりの人口増加と税収の伸びを前提とした総花的な総合計画では、持続可能な都市づくりは不可能。2号線バイパスや瀬戸大橋の開通とそれに伴うインターチェンジや高速道路網の整備、また岡山倉敷の中間に位置するという地理的優位性により宅地開発が進み、またま人口は増加したが、今後は難しい。今までやってこれたから今後もなんとかやっていけるというのではない。約10年後には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる「2025年問題」があるが、その時点で高齢者福祉費や扶助費の激増は明らかであり、生産年齢人口の減少は税収の減少に繋がる。税収が減って支出が増え続ければ経営は成り立たないのは当然のこと。残念ながら今までの総合計画は、早島町の地理的優位

性を最大限に生かすことによる将来の税収確保ということを見据えた現実的な施策は非常に少なかった。現在第4次総合計画のうちの平成27年からの後期基本計画の見直しが進行中であるがその柱は定住促進、企業誘致等の土地利用、教育、福祉、防災となっている。その内の土地利用計画の考え方について問う。

答 町長 2、3年先には人口が減少に転ずるという観測もあり、また高齢化率が30%になるのもそう遠い将来ではない。少子高齢化は早島町も避けて通れない重要な課題の一つである。東日本大震災以後、利便性があり災害が少なく安心して暮らせる町ということで早島に住みたいという人や進出したいという企業が後を絶たない大変ありがたい状況にありながら、残念なことに現在の市街化区域の中に開発できる土地がほとんどない。20戸の団地を開発するのもままならない状況。過去早島町は2

号線開通時とインターチェンジ完成時の2回、将来を見据えた町づくり計画をすべきチャンスがあったが、残念ながらそれもなされなまま時が過ぎた。現在の市街化区域は飽和状態で、調整区域も大半が農業振興地域をかぶっているという非常に難しい問題があるが、調整区域の土地利用がスムーズにできる状況をつくっていかなければならぬ。少ない土地を有効利用して、若者定住化対策、税収の見込める企業誘致等々を行い将来にわたってベッドタウンとして発展していく早島の創設を目的に、都市計画マスタープランの変更とともに、法に照らした具体的な土地利用計画を立てていきたい。

新・教育ビジョンについて

問 教育委員会では、10年後を見据えた早島町の新しい教育ビジョンを策定中であるが、今までにならぬ素晴らしいアイデアや早島の個性を生かしたユニークな取り組みが実現されることを期待している。その骨子、進捗状況、今後の流れを問うとともに「英語教育」の小中のカリキュラムの連結と、グローバルな人材を目指すに必要な

「国語教育」の重要性についての考え方を問う。

答 教育長 検討委員会から10月末に答申があり、早島を知り、愛し、確かな学力を身につけ、高い志をもって世界でも活躍できる力を備える子どもという意味で、目指す子ども像を「地域とつながり未来を開く早島つ子の育成」とした。出された提言は以下の通り。

- ① 保・幼・小・中の連携と一貫教育の推進。
 - ② 町民とともに学び地域を考える早島学と早島塾の実施。
 - ② 支援体制の構築。
- 進捗状況としては、現在学校の教職員に周知するとともに、学校教育課と生涯学習課で実施に向けた予算化をしている。近日中に保護者や町民の方に向けて公表する。今後はビジョンを具体化するための組織をつくり今年度中に計画を立て、来年度から可能な範囲で実施し、27年度からの完全実施を目指している。英語は中学校の英語科を中心に一貫カリキュラムの検討を行う。国語は重要で、学校図書館、町立図書館を利用し読書の習慣付けを考えている。



佐藤 政文 議員

早鳥駅の駐輪場の整備

問 現在早鳥駅には、駐輪場がありますが、上段の利用が少ない。利用状況の把握はされていますか。上段には蜘蛛の巣などが張っている所が多く見受けられます。このような状態では利用の促進は難しいと思います。早急な改善を要望したいと思います。「新設されたシルバー専用の駐輪場がとても便利で使いやすい。」との声を聞きます。現在、シルバー専用駐輪場には屋根がありません。でも、雨の時には利用者はいま少し、晴れていても、突然雨となることもあります。シルバー専用駐輪場に屋根を付けることか出来ないのでしょうか? 駅の駐輪場の整備により快適で綺麗な早鳥の玄関口になると思っています。町の前向きな回答を期待いたします。

答 町長 整備は十分ではない。次の手を打つ必要がある。

答 建設課長 限られたスペースの為に2段にしている。高齢者の

問 観光センター前のシルバー専用駐輪場に屋根が出来ないか

答 屋根の設置は今年度中に利用形態を調査して対応する

方にはご不便をかけている。シルバー駐輪場の屋根は利用形態を調査して対応する。駐輪場の放置自転車は年1回整理処分している。管理はシルバー人材センターに委託している。今後とも適正な維持管理に努める。



早鳥駅駐輪場

早鳥駅前シルバー専用駐輪場



イベントの官民協力体制

問 町の活性化の為に、町をアピールするためのいくつかのイベントは必要だと考えます。ただ、早鳥町は現在、イベント縮小方向に向かっているように思えます。特に「桜祭り」に対しては、町の方の協力的な態度が見受けられ、このことは有権者の方からも指摘されております。「補助金と場所、テント、机、いす等は提供するから、後は、おまかせします。」との状況です。さらに、「運営事務」については、民間に丸投げ状態です。イベントを企画運営している民間の方も、努力はしておりますが、みなさん他に仕事を持っておられ、忙しい仕事の合間をぬってにぎわいと活性化を図り町の絆を深めるために努力しているのです。

今までのイベントのやり方は古いと、よく言われますが、他地域のイベントも一朝一夕にできたものではありません。真新しいイベントは、人目を引いて目立つかもしれませんが、町の先輩たちが築き上げた、イベントも大切にすべきではないでしょうか。たとえば、観光協会が事務を引き受けた場合、実行委員会会長がだれにな

ろうとも、場所の変更や名称の変更があっても、イベントは、進めることが出来ます。企画運営と協賛金集金や当日運営などのすべては出店団体や実行委員会に任せておけばいいと思います。今後の行政の協力、バックアップ体制について、町の方針をお示しく下さい。メルマガの積極的な活用を求めます。システム自体は、そんなに難しいものではありません。タイムリよく、情報を伝えることが重要です。また、各種の団体や活動グループにも情報提供を呼びかけたらよいと思います。官民で協力し合ってはいかがですか。

答 町長 イベント自体は否定していない。実行の主役が町の職員なのが問題だ。土曜日・日曜日にイベントがあり、平日に代休を取るのが問題だ。応援は当然する。皆さんの力でイベントは行うべき。実行委員会の在り方と何をするかは色々協議できる。

城山公園





福田 健 議員

問 26年度、農業振興地域の整備をどうするのか

答 年が明けたら農業者等に実態を説明する

問 日本の農政が大きく動こうとするなかですが、今日まで早島町の農政は具体的にほとんど進展していない。なぜ、こんなに停滞しているのか、問題点は何なのか、26年度はどう取り組むのか。

答 町長 農業振興地域の決定に向けて、平成19年8月から地域農家への個別説明会が開始された。平成20年7月1日に県に対し振興地域の地域指定が申請され、同年8月12日に決定した。また、同年11月7日に整備計画も認可された。申請直前の5月24日に早島町農業委員会が廃止されており、これだけの問題を農業委員会を外して進めていったのはいかがなものかということ。その後、平成22年度に県が土地改良調査費500万円を計上された。事業の進行には地権者全員の同意が必要のため、説明会が予定されていたが、これを中止し、平成22年9月16日に県に対し調査費500万円の取り下げを要請し

た。このことで補助事業としての農振地域の整備計画は水泡に帰した。結果として70畝の最も規制の厳しい農用地が残ったが、この農用地を解除することはほとんど至難のわざです。大学誘致等の具体的な事業が決まらない限り、これからずっと農振地域は解除されない。

水路整備はやらなければならないと考えていましたので、試算しましたが、延長7kmを最も安い工法で整備して13億円かかります。町の財政力を勘案すると町単独事業でやれば50年も60年もかかります。補助事業でやろうとすれば、5年でやれということになり、町も、何億円もの事業費を負担することになる。私の怠慢でこの事業をやらなければならない。

問 もう一度農業者や農業団体と十分な話し合いをしたうえで、この農振地域の整備問題にたいする住民と行政の共通認識ができるよう、精いっぱい努力してもらいたい

い。

答 町長 この事態の打開策について考えると、これから年が明けたら、私が農業従事者の皆さん、農業委員会等々にこの実態を説明することが必要と思う。この事実を農業者の方がご存知ないからです。

環境保全および安全確保の視点での空き地、空き家等の管理について

問 当町の問題点をどのように把握しよう対応しているのか。

答 町長 老朽化して周囲に危険を及ぼすような状況の家は1軒ある、現在親族の方と話し合いをしている。当面対処すべき問題は少ないと認識している。

問 大半の方々が適切な管理をしているなかで、一部の人たちがそれを怠っている。これを放置すれば全体への悪影響の懸念もある。職員の皆さんも条例をつくれればより効果的な仕事ができるのでは。

答 企画課長 今自民党が対策法案をつくっている。これを見ながら歩調を合わせて行ければ良いと考える。

ふるさと納税制度の来年度の取り組みについて

問 この制度を生かす一番のポイントは、納税者の意思をどう尊重できるかにある。そのために、どんな仕組みを考えているのか。

答 副町長 選択肢を増やすとともに、町長おまかせコースや、具体的に希望する事業があれば、それを記入できるようにも考えた。

問 町外に住んでおられる早島町出身者にいかに広報していくのか、また、納税者への感謝の気持ちをどんなかたちで表していくのか。

答 副町長 町外にお住まいの方にどうしたらしっかり呼びかけてもらえるか、そんな視点で検討している。感謝の気持ちの表し方については、広報を1年間お送りすることやお礼の品としてイ製品其の他をお送りすることを検討している。



早島町のホームページより



眞鍋 和 崇 議員

問

県道松島線東側の大型物流倉庫開発計画
業者による事実ではない説明が行われている

答

町が支援しているという事実は
全くない

問 松島線東側から大池地域にかけ、巨大な物流倉庫の建設計画があると聞く。この地域は町有地が多く含まれ、現在は物流企業の立地可能地域ではない。

地権者等が対象の開発業者の説明会では、「公にはできないが町が全面的な協力を惜しまないと確約を得た」等の説明がなされたと聞く。これは事実ではない説明だ。業者側に抗議は行ったのか。

地域住民は住環境の悪化等の懸念を持っている。業者の説明では、河原医院前の町道の北側に15mもの物流倉庫を建設。備南台公園を横断する道路建設の計画もあると聞く。

答 周辺住民の合意が得られていないままの開発と町有地の売却は行うべきでない。

問 町が支援しているという事実は全くない。

業者に対しては、先日業者が来庁した際に、強く抗議を行った。業者との具体的な協議も行って

ない。今後仮に話が進むようであれば、議会と地域住民には説明はおこなっていく。

問 同地域の町有緑地は、県総合流通センター開発時に、緩衝緑地の目的で県から移譲された。このような緑地は計画的な保全が必要だ。防災上の機能、住環境を維持する機能を保つため、都市緑地法に基づいた緑地保全計画を策定すべきだ。

答 町長 種々検討したい。現在においては県の自然保護条例に基づいて自然環境の保全を図る。(開発面積の30%以上の緑地確保)

町内の雨水排水対策に調整池の設置検討を

問 2011年の台風12号では、1時間に30ミ、24時間で200ミを超える雨に、町では床下浸水95件の被害が出た。急激な豪雨に対応するため、今後建設される施設や道路の地下に調節池の埋設を検討できないか。

答 町長 H26年度に詳細な調査を行い、計画を検討する。



汐入川へ雨水排水を行う舟本排水機場

子育て支援に風疹予防接種の助成制度、来年度から実現

問 免疫のない女性が妊娠初期に風疹にり患した場合、ウイルスが胎児に感染し、先天性風疹症候群とよばれる様々な深刻な障害を引き起こす恐れがある。ぜひ来年度から風疹の予防接種の助成制度の実施を求めます。

答 町長 早島で安心してご出産いただくことも当然考えなければならぬ。新年度から風疹の予防接種の助成を実施する。

問 厚労省の諮問機関の社会保障

介護保険改定案、要支援者切り捨てず継続的支援を

このままですと町内の要支援者のみなさんのサービスはばっさり切り捨てられる。町として支援を後退させることのない継続的な支援を行うこと。

審議会が出した介護保険制度の見直し案では、要支援1、2と認定された人は従来受けていた訪問介護・通所介護などのサービスが、2015年度より介護保険制度から切り離され、市町村の事業に移行する。

答 町長 詳細が決まっております、国の動向を見守る。

空き家バンクについて

問 実施すると以前の質問での答弁だがどのように実施するか。

答 企画課長 県空き家情報流通システムを利用し、情報収集・所有者の意向調査等を行った後、次年度10月頃のたち上げを目指す。

住宅リフォーム助成制度

問 検討すると以前の答弁だったが、どのような検討が行われたか。

答 町長 町の零細企業支援にこの制度はなじまないと考えた。それに代わり、町が実施する10万円以下の事業は町内の中小零細企業へ発注すると決めた。



古田 敬司 議員

問

ふれあい農園の契約状況を問う

答

引き続き複数年利用できるように取り組む

問 この農園は5名の地権者と平成11年4月1日から平成26年3月31日まで15年間の土地賃貸借契約を交わし、国のリフレッシュ農園緊急整備事業として現在に至っている。利用者は定年退職された団塊世代の方々が多く、健康維持、親睦コミュニケーションを深める場としてもこの農園は利用されている。3年前にも一般質問でただしたが、今現在契約期間満了も近づいており、改めて現在の契約状況、ならびに複数年契約について地権者との交渉状況、今後の見通しを尋ねる。

答 副町長 ふれあい農園の地権者の方々と賃貸借期間が平成26年3月で満了するが、双方に異議が無ければ更に1年延長する旨の契約を結んでいる。一方、農園利用者との契約期間は3年毎に行っており現在の契約期間は平成27年3月までとなっている。それ以降の見通しについては今後、地権者の方々にご協力をお願いし、引き続き

き複数年利用ができるよう取り組んでいく。

要望 利用者の思いを十分受け止め、平成27年3月末で打ち切りとならないよう当局に対して、格段の努力をお願いする。



ふれあい農園

ふれあいの森公園の火気使用について

問 早島町都市公園条例「行為の禁止」第5条8項で花火、たき火をすることが明記されて、同様に早島町ふれあいの森公園条例の中にも同じ文言がある。しかし、実態として夏場にはバーベキューを

楽しむ団体も見受けられ、管理が十分とは言えない。そこで公園全域を禁止するのではなく火を始末する格納庫を新設するとか、炭焼き、ガスコンロ使用は認めるとか、一律規制について実態を踏まえた上で、この施行規則の見直しが必要ではないか。

答 副町長 ふれあいの森公園の火気使用は炊事棟、キャンプファイヤー場に限定している。園内には火気禁止の看板を立て、利用申請の際には注意を促し、夏季のキャンプ利用時には管理人も置いて管理や利用指導に当たっている。が、現在の管理は主として不測の事態を回避しようとするものであり、今一度実態を踏まえた検討・見直しを行う。

中山運動広場のトイレ新設について

問 平成25年6月に早島町の地域防災計画が発行され、その中で避難の考え方が示されている。避難の必要がある住民はまず地区内の緊急退避所、広場や公民館などへ避難し、その後必要に応じて学校等の避難所へ移動すると明記されている。旧王山住区の住民は中山広場、大池広場が緊急待避所に指

定されているが、400人規模の収容人数を考えた場合、トイレ、水飲み場が整備されていない。この広場はこども広場の名称で造成され、年間を通じて子供たちをはじめ、多くの方々がスポーツ、地域イベント等に利用しており、周辺住民からもトイレ設置の声が出されている。町長の所信にある快適な住環境整備の実現に向けて、毎年町内各地の公園、広場にトイレが順次、新設あるいは建て替えがされているが、トイレの新設等年次計画はどうなっているのか。

答 町長 早島町の地域防災計画を今年度策定した。その中で改めて避難場所を今回策定し、中山広場も当然のこととして、今後も周辺の皆さん方の避難場所として使われると認識している。また多くの皆さん方の日常の憩いの場でもあり、ぜひともトイレの新設については検討していく。



中山運動広場



松森京子 議員

問 児童虐待防止の取り組みについて

答 24時間体制で福祉課が窓口となり保健師が待機している

問 児童虐待の件数が年々増えており、一層の対策強化が必要と考えます。児童虐待防止法では、身体への暴行、わいせつ行為、養育費の放棄、心理的外傷を与える言動など、虐待を発見した場合の通告義務も定められました。虐待の現場を見ることはなかなか難しいかもしれませんが、きめ細やかな支援が必要だと考えます。本町で虐待に関する相談は何件ぐらいあり、また、役場に届かない声をどのような方法でキャッチされ啓発されているのか、児童虐待防止法の取り組みについて伺う。本町に、こんにちは赤ちゃん事業というシステムを取り入れてはどうか。

答 町長 本町では今年度2件ありました。平成17年から24時間体制で相談を受け付け、保健師が待機しております。保育園、幼稚園、小・中学校、病院等児童関係機関の関係者では連携を密にし、早期発見に努めています。役場に届きにくい声は地域の方の協力が必要

で、早急に町の方へ通告をするこ
とになっていきます。虐待防止を
行っていくためにはガイドブック
や広報紙によるPR、イベントの
際、愛育委員の方によりチラシの
配布、又家庭訪問などで見守つて
います。

問 福祉課長 相談窓口を福祉課
として、保健師が関係機関に連絡
をします。学校とか折に触れてPR
をしては行っているので、このことにつ
いては行き渡っている。赤ちゃん
訪問は、乳幼児全戸訪問実施し、
愛育委員の方からも声かけをして
います。

問 日本で2人に1人が癌にかか
り、3人に1人が亡くなられてい
ます。早島町でも、がんの死亡順
位は一位を占めています。国は30
年間がん対策を行ってきましたが
依然成果は見られません。一番の
問題点は、がん治療は早期発見が
必要不可欠ですが、日本ではがん

がん対策について

問 副町長 がん検診の受診率は
11月現在で平均23%です。受診率
を向上させるために一部無料ク
ーポン配布、広報活用、家庭訪問、
ポスター掲示等PRに努めていま
す。集団検診では土、日曜日を実
施日にし、婦人科の集団検診では
託児を行い、受診がしやすい環境
づくりにも努力をしています。し
かし受診率は横ばい状況で著しい
改善は見られていません。引き続
き受診率向上に努めたい。ピロリ
菌抗体検査の導入の件は、国・県・
他都市の動向の把握に努め検討を
していく。

問 大腸がん検診で、検体を直接
役場に提出することに抵抗がある
とお聞きしました。そこで、検体
を郵送で役場に提出する事を提案
したい。

問 西コミ・いぶき荘は、高齢者
の方が利用される際、外に防犯灯
がなく転倒された方もおられま

公共施設の安全性を問う

問 室内は段差が多く、照明も暗
い。和室のため座りにくい等非常
に不便さと危険を感じます。公共
施設の安全性について当局の今後
の取り組みについて伺う。

問 町営住宅の完成に向けて、浴
室とトイレが部屋の中ほどに位置
し、昼間でもライトが必要で電気
代が発生する。今後の設計も同じ
間取りなのか。

問 居住の間取りあるいは、浴
室等々に関しましては、国が
示す公営住宅等整備基準があり、
安全性、機能性、あるいは経済性
等々を十分考慮しながら効率的な
建かえを進めている。

問 建設課長 使い勝手を最大限
に引き出せるように計画をしてい
る。駐車場は国の補助制度におい
ても一台以上の整備は認められて
いない。



原 光俊 議員

問 水と緑の美しい自然環境保全の具体的計画はどこまで進んでいるのか
答 自然環境資源を25年度中にデータベース化し26年度より具体化していきたい

問 第4次早島町総合計画の中の「水と緑の美しい自然環境の保全」について

企業進出と住宅開発等で水と緑が失われつつある。先人が我々に残してくれたこの貴重な財産を我々の手でこれ以上破壊していくことは出来ない。自然保護はもう待たない。立ち止まって考えている余裕はない。具体的にはどのように計画を進めていくのか。

答 町長 自然環境保全と言うことについては十分配慮しなければならぬ。これはもう当然のことであると思っている。10月に7市3町で流域サミットがあった。そこで高梁川の貴重な水を守ると共に、水辺の景観や生態系の保護、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくと言う宣言をした。早島町もこれに賛同し、近隣市町村と提携して先人の築かれた貴重な自然を受け継ぎ、後世に引き継いでいきたいと考えている。一方で、企業立地も必要で、自然と均衡を

とりながら開発を進めることは当然である。また、歴史のある古い町並みの保全と同時に、失われた物の復元も必要ではないかと考えている。時間はかかるが、そういった精神をもって今後の自然を守っていきたい。

問 町の基本姿勢は理解できた。今の子どもたちは野外で遊ぶことが少なくなった。学校で学ぶことも大事だが、自分が生まれ育った町の歴史やふるさとの自然に触れ、山に入って虫を捕ったり、水辺の小魚と遊ぶことも大切な事ではないか。

自分の生まれ育った野山に親しむことで将来、ふるさと早島への愛着も生まれてくると思う。町長以下全幹部職員で町づくりプロジェクトを立ち上げ、一日も早く具体策を練っていただきたい。

答 町長 緑の保全については当然、心してその精神を失わないよう進めていきたい。

とれた「新しい町づくり」のグラウンドデザインは出来ているのか。23年からスタートした第4次総合計画の中にある「水と緑の美しい自然環境」が基本構想として引き継がれているが、具体的な計画も行動も起こされているとは思えない。一日も早く、自然保護区域、市街化区域、開発区域等の線引きをしていただきたい。

答 町長 第4次総合計画の見直しを平成25年度からスタートさせ、26年度に完成させるべくその中で、ご指摘のような事を計画しているのご理解いただきたい。

問 職員の意識改革についてコスト意識の徹底は図られているのか、また町民の要望、意見、苦情等への迅速な対応が出来ていない。

答 副町長 コスト意識の徹底については、予算編成作業や個々の事業運営を通じてコストに対する自覚の醸成に向け日々努めてきたつもりだが、今後とも、適切な時期に適切な支出がされているか、常に議論が出来る環境と検証が出来る習慣をつくっていきたい。

要望 幹部の方からは毎回そのような答弁を聞くが、末端までは浸透していない。工夫すれば自分たちで出来ること

でも、すぐ業者に依頼する。コスト意識に欠けていると言わざるを得ない。また、町民の皆さんに対する迅速な対応を、ここにおられる幹部職員の方々は各課にこの事を徹底していただきたい。

問 町の文化施設の開館日、閉館時間について、毎週月曜日が閉館となっているが、月曜日が祭日の場合は開館し、翌日の火曜日を閉館日に出来ないか。

答 教育長 各施設の開館日、閉館時間については条例規則で最も合理的な時間、曜日を定めたものである。しかし利用者のニーズも時とともに変化するだろう。それに応じて柔軟に対応していく必要があるかと思う。

答 生涯学習課長 利用者のニーズや我々のそれを受ける体制等を勘案して最も合理的と考え定められたものである。これを変更するとすると職員の配置、勤務体制等々クリアしていく必要がある、工夫はしていきたいが、現状では変更は難しいと考えている。

要望 職員の配置、勤務体制等難しい点はあるだろうが、町民への更なるサービスと考え早急に検討して良い結論を出していただきたい。



小池 宏 治 議員

問 早島町の財源確保などの具体策をどうお考えか

答 土地利用・企業誘致に向けて施策を展開していく

問 本町の町税収入が平成24年度は企業業績の回復等で昨年夏より約1億円の増収でした。しかし平成19〜20年度に比べると約半分の5千万円程の増加ですが、その間の21〜23年度は減収です。本町の平成25〜27年度の一般会計収支見通しによるとやや下降の傾向にあります。今後本町の財源確保・自主財源確保をどのようにお考えか。

答 町長 今後の財源確保については利用出来る土地が少ない、企業誘致もままならない状況であるが、土地利用計画を作っていく中で、企業誘致が出来るよう施策を展開していくかなければならない。土地利用計画は県とも十分な協議をしながら財源確保を考えていく。税収も増収の努力を進めていくので心配はしていない。

問 基金(町の貯金)が平成20〜24年度で約4億円減少しています。その上経常収支の比率も町長就任時より大変悪い方に進んでお

り、危険水域の90%を大幅に超えている状況をどのようにお考えか。

答 町長 経常収支比率の伸びは行政サービスを充実してきたというところが一つの要因で、この比率は現在がピークで町の将来負担比率の健全化や当面大型事業の見込みがないので心配していない。

問 本町町有地の未利用地・遊休地が約4千700㎡と以外に少ない。先程の町長の財源確保に向けての企業誘致については以前、調整区域を市街化区域に編入・入替えが可能かどうかの話がありました。現在、泉南広域都市計画の6市1町の中で市街化区域が0.2%しか増えない状況で編入出来るところは少ないことですが、県のお話を改めに聞きたい。

答 町長 本町の市街化区域の中に企業誘致出来るような大きな土地はないが、国道から北は農振の農用地がかぶってないから具体的なまちづくりを計画した上で県と

の協議で作業を進めていく。

問 経常収支比率のことなどで町民の皆様方が大変心配されておられます。現状を説明されるのか、お知らせする方法を考えては。

答 町長 毎年予算を組むので、その時点でわかりやすい説明とか広報でお知らせする。

「道の駅」を町活性化策の一つに検討されるか

問 昭和45年に2号線が開通・南北が分断されて40数年間、南厚北の格差が未だに解消されていない状況が続いており、北の皆様には積年の不満があります。解決策の一つとして、国交省が地域活性化のため「道の駅」支援の充実を図るとのこと、町の活性化策の一つとして検討されては如何か。

答 町長 「道の駅」は国道・県道・道路管理者と自治体が協力してやるということ。国道の場合エリアもないので無理、ドライブインと出来るので公の施設を出す必要はない。

問 町長は国道にこだわっていますが、県道も使える発想の中で、如何に住民サービスをするか、地域をどう活かすか、「道の駅」がダメなら、それに代わる民間等を誘

致するとか無理だと言う前に代案を何か考えて頂きたいが如何か。

答 町長 早島の中で国道2号と早島松島線の県道と2つしかない。県も国も絶対しません。

問 「道の駅」の位置づけは道路利用者の休憩・情報発信・地域や町同士が連携する、又近隣の方々から農産物を集めて販売の交流にぎわいの施設もあり、運営も商工会・農協・民間等あります。駐車場20台・トイレ10基・24時間利用とか条件はあるが地域活性化の可能性はあると思うがどうか。

答 町長 「道の駅」の結論はやるつもりはない。

町職員の町駐車場の有料化を検討されるか

問 町の駐車場を利用している職員への有料化について、近隣自治体の調査・財政健全化への一助として検討されては如何か。

答 町長 来年度から取り入れたいと細部にわたり検討している。



第2回

議会報告会を開催!!

各会場で要望・意見の主なもの
は以下の通りです。

◎議会に対して

Q 質問（意見交換）の時間を長くとれる運営方法を考えて欲しい。

A 運営方法を再検討します。

Q 説明資料は一般町民向けに作成して欲しい。

A よりわかりやすい資料を作成していきます。

Q 議員はどこで町民の声を聴くのか？

A この報告会を含め、色々な場面で聴かせて頂いています。

Q 議員定数10人が適正か？

A 住民の声を聴くには相応の人数が必要です。

Q 視察に行く目的と視察の成果が行政に反映しているか、報告はしているのか？

A 年に1回目的を持って視察を行っています。成果は徐々に上がっています。視察報告は議会だけでなく報告しています。

Q テルサの覚書を守ってもらわないとおかしい。議会に相談した後、県に断りに行ったのか？

A 議会に相談はありました。

Q 今年度の選挙の際には、公開質問会を開いてもらいたい。

A 議会が主体でするものではありません。

Q 町営住宅の工事で遅延が発生した場合、議会はどう対応するつもりか？

A やむを得ず遅れる場合もありますが、単なる遅れには強く見します。



◎行政に対して

Q 早鳥駅の陸橋に屋根が設置できないか？

A まず、ホームと列車の段差解消に向けて働きかけています。

Q 県道松島線沿いに物流倉庫が建設予定と聞かすが、予定地の緑地を残してほしい。

A まだ、議会の方に協議がされていませんが、協議に入れば要望は町に伝えます。

Q コミュニティバスを日笠山団地の中まで上げてもらえないか？

A 年に1度見直しをするときに

検討するように伝えます。

Q 観光センター以外の施設の運営費は？

A 主なものとしてゆるびの舎 4832万円

いかしの舎 764万円
観光センター 1087万円

Q 農業振興地域に指定後、河川を直すことはしないのか？

A 水路整備が先か圃場整備が先か決まっています。農業委員会で検討中ですが、圃場整備は全員が賛成しないと前に進みません。

Q 町営住宅の家賃はいくらになるのか？居住者との話し合いはされたのか？

A 世帯の収入と問取りによって違います。説明会を数回開催しています。

Q 町営住宅の引越しの費用は誰が持つのか？

A 1回の引越しにつき21万円を町で負担しています。

Q 公園維持管理交付金は、今年度からなぜ収支報告書が必要になったのか？

A 交付金は町の特定の事業（公園清掃等）を団体等に委託した際、事業内容に基づいてお支払

いするお金です。収支報告書は税金の使途を明確にするために交付団体に対して提出を今年度からお願ひしています。

Q 早島幼稚園の預かり保育が保育園状態になっている。幼稚園の中に保育園に入りたい人がいることを把握しているのか？

A 保育園も預かり人数を増やしています。

Q 町債残高約71億円になるまでの過程は？

A 71億円のうち公共下水道事業で約31億円、償還の見通しは立っています。71億円の町債残高は決して多くない金額です。今になってなぜジェネリック薬品を推奨するのか？

A 国保の医療給付費の上昇が著しく、抑制のために進める必要があります。

Q 国保と介護保険の給付費を抑える考え方が町民に伝わっていない。

A 町民への広報はしていますが、たえず啓発を行います。

Q 要支援1、2に対するサービスが自治体に移管されるが町は取り組みが出来るのか？

A 具体的な計画がないので今は検討中です。

Q 小浜の樋の交差点に信号機が付く計画があったがどのようになったのか？

A 今年度中に用地買収予定。県は買収済み次第工事を開始する予定です。

平成 25 年 11 月 17 日

◎中央公民館 多目的教室

11 月 23 日

◎いぶき荘 集会室
◎西コミュニティセンター
集会室

11 月 24 日

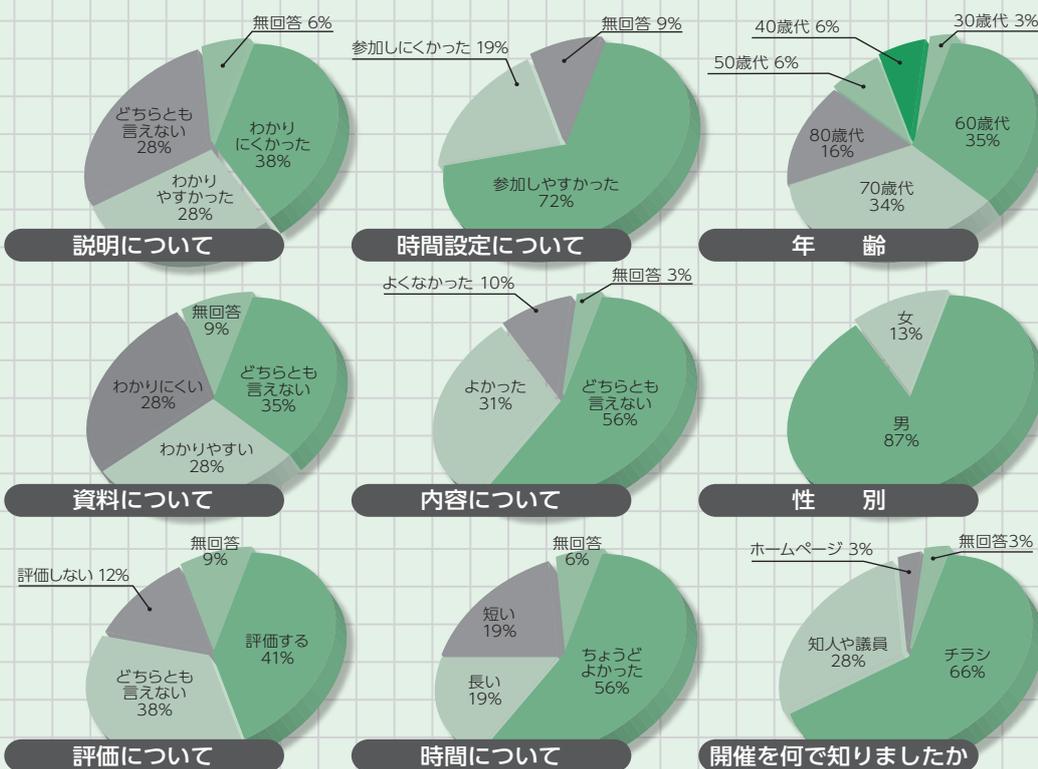
◎さつき荘 集会室
◎大谷荘 集会室

上記 5 か所で第 2 回目の議会報告会を開催致しました。
今回は新しい試みとして、プロジェクターを使用して、大きな画面で説明をさせて頂きました。

- Q** 災害時に避難した際の食糧、水の蓄えはあるのか？マンホールトイレは考えているのか？
- A** 食料、水は備蓄しています。コカコーラ、ハロースと協定を結んでいます。マンホールトイレの要望は町に伝えます。
- Q** 自主防災組織の相談窓口となるアドバイザーを設置しては？
- A** 総務課で対応しています。
- Q** 防災計画は策定されたのか？計画策定過程で女性の意見を取り入れたのか？また、女性の参画をどのように位置づけているのか？
- A** 計画は出ています。すでに、女性の策定委員があり、女性の意見も一定の反映ができています。今後もさまざまな場で女性の参画を進めます。
- Q** 下水道料金は水道料金の 1.5 倍にしないと採算が取れないのか？
- A** 2 か月で平均家庭で 40 トン使用した場合、水道料金が 3,036 円。下水道料金が 5,056 円。下水道料金が安いのは、処理費や建設費が入るためです。
- Q** 自転車通学に保険の加入を勧めないのか？
- A** 保険は岡山県 PTA 連合会が斡旋しており、多くの生徒が加入しています。
- Q** 地元公民館の敷地にある木を剪定した枝を町で処理してもらえないか？
- A** 町の一斉清掃の時にしゅらえれば、処理できます。
- Q** 有収率が悪い原因、改善計画を教えてください。
- A** 水道管の老朽化によるものです。計画は出ています。
- Q** 経常収支比率が上昇した理由は？
- A** コミュニティバスを町単独で運営することになったことや、小児医療費助成の対象を中学生までに拡大したこと等によります。
- Q** 発達障害の啓発活動をやっていたとき、早期発見、療育をお願いする。また、在宅での生活を支援して頂きたい。
- A** 早期発見は検診で対応しています。週 2 回のひまわり教室を活用してもらいたい。在宅支援の要望は町に伝えます。
- Q** 健康づくり推進運動は継続的に行われるのか？
- A** 一過性の施策でなく、継続的に行います。
- Q** エアコンの設置で教育環境が整ったが、成績を上げる施策を考えて欲しい。
- A** 教育ビジョンを作成しています。それに沿って力を入れてやっています。

議会報告会アンケート集計結果

参加者 35 名中 32 名の方から回答をいただきました





新成人特別企画

早島の新成人に聞く



- ① 新成人の「決意と抱負」を教えてください。
- ② 将来の早島を「こんな町にしたい・してほしい」という意見を聞かせてください。



① 今日からいよいよ大人の仲間入りです。大人としての自覚を持ち、行動や言葉に責任をもって頑張りたいと思います。

三宅 裕貴奈



① 二十歳を迎えて成人という自覚を持って人に頼られるような人になりたいです。
② 早島町がより活気のある町になってほしいです。

山崎 雅也



① これから勉強が大変になっていくので、もっと頑張りたいです。
② 計画性のある町づくりをこれからもしてもらいたいです。

薬師寺 勇斗



① これからは大人として、責任を持ち頑張ります。そして自覚ある行動を心がけたいと思います。

太田 春香



① 今までお世話になった方々に恩返しできる人間になる。
② 暖かくて思いやりがある町にしたい。みんなが自慢できる地元にしたい。

大崎 香奈



① 二十歳になったので、自立し、そして自律した生活を送ってみたいです。

石田 彩乃



① 私は春から夢だった保育士になります。成人としてだけではなく、先生としてもけじめのある行動をしていきたいです。
② もっと町民同士の交流がたくさんある早島町にしてほしいです。

清水 美咲



① これからは自分のことだけでなく、人の事も気づかうことができるように精神的にも大人になりたいです。
② 今後も今までのような住みやすい早島町であってほしいです。

藤原 慎之介



① 去年は社会人として大きく飛躍できた年でした。今年も社会人として責任のある行動ができる大人でありたいです。
② 結婚してもずっと早島に住みたいと思える町であってほしい。

栗坂 祐紀



① これからは社会人の一員として責任と自覚を持ち、何事にも取り組んでいきたいと思っています。
② 地域の人たちとの関わり合いが深い町になるといいなと思います。

横本 遥



① 自分がもう大人であるということに自覚をもち、日々勉学に精進し人々の役にたてるような社会人になりたいです。

木村 俊博

◆ 編集後記 ◆
新春のお慶びを申し上げます。
降霜が朝日を反射し、早島の水田もキラキラと美しく光っています。
さて本年で早島町議会も任期4年が経過し、夏には町議会議員選挙が行われる予定です。
議員一同総括の年を迎え、より研鑽を重ねてまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
議会広報編集委員